

No. 1202

健 康 を 守 る

とかく、この世はくたびれる。なにをするにも便利になったが、生きて行くのが忙がしすぎて、ストレスはたまる一方。病気になってからではと皇居のまわりは昼夜ともなるとマラソンをする人でいっぱい。不景気の時節がら、健康づくりにもとでがいらないとあって異常な人気になっている。ある会員制のアスレチッククラブ。運動不足とストレスを解消しようとする人大盛況。体を動かすにも都会では場所も機会も少なすぎる。せめてお金では買えない健康を保持しようとトレーニングに余念がない。

こちらは電子治療法の学会。健康を守る新しい医学として注目を集めている。この電子治療法、指圧などのツボに電流を通じて人体が本来もっている回復機能を助長させようとするもの。薬の副作用などの心配がないとあって電子治療を受ける人が多くなっている。

ともあれ健康が第一。あなたは今健康ですか。

防 災

制服姿もりりしい婦人消防官。東京消防庁には今 230 人の婦人消防官がいて、幼児や老人の消防訓練などに活躍しています
ファイアーヘルパーと呼ばれ、寝たきり老人の消防査察を続ける婦人消防官。

細かい心使いが高く評価されています。文化財の査察も重要な仕事。消火器具の調査も念入りに行なわれます。

1月26日は「文化財防火デー」。文化財を火災から守るとともに、国民一般の文化財愛護の意識を高めるため、この日を中心いて、文化庁・消防庁の主催による防災訓練が行なわれました。出火とともに、建築物を水の壁で包むドレンチャーなどの近代設備も開発されました。しかし、我が国の文化財は木製、紙製のものが多く貴重な文化財が常に火災による焼失の危険にさらされています。火災の多い季節、国民的財産である文化財を守るために防災に万全を期したいものです。